

令和2年 議会アンケートの結果について

議会活性化特別委員会

「アンケートの実施について ～御礼～」

加賀市議会では、加賀市議会基本条例に基づき、「開かれた議会」や「市民が参加する議会」を目指し、様々な議会改革の取り組みを行ってきております。

今回、これまでの議会での取り組みの検証と今後の議会活動・議会運営への課題整理のため、3回目となるアンケート調査を実施したところ、市民の皆様から多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。

今回の結果については、議会全体で情報を共有し、今後の議会活動、議会運営に活かしてまいります。

お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきました皆様方におかれましては、重ねて厚く御礼申し上げます。

「調査の方法・状況」

- | | |
|-----------|--|
| 1. 調査地域 | 加賀市全域 |
| 2. 調査対象 | 市内に在住する18歳以上の方 |
| 3. 調査方法 | 住民基本台帳からの無作為抽出による無記名アンケート |
| 4. 調査期間 | 令和2年9月 |
| 5. 調査対象者数 | 1,500人 |
| 6. 回答数 | 537人 ※回収率：35.8% (第2回(H28)：514人、34.27%)
(第1回(H25)：425人、28.33%) |

「調査項目」

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 問1～3 | 調査対象者属性（性別、年代、中学校区） |
| 2. 問4 | 市議会の関心度の把握 |
| 3. 問5 | 市議会だよりの読書率の把握 |
| 4. 問6～8 | 市議会の傍聴や視聴に対する把握 |
| 5. 問9 | 市議会の効果的な情報発信源の把握 |
| 6. 問10 | 市民の意見反映に関する評価の把握 |
| 7. 問11、12 | 市議会の活動に対する評価・意向の把握 |
| 8. 問13（自由記入） | 市議会への全体的な意見・要望の把握 |

「集計表の見方(注意事項)」

1. 今回のアンケートは、各質問に対する回答を単純計算しています。
2. 問12は複数回答となっており、回答者数が全体数を上回っています。

「アンケートの分析」

次ページからは、過去2回の調査（H25、H28）との比較や、年代別での集計など、議会活性化特別委員会による分析を記載してあります。

設問1～3 性別・年代・地区について

- ・男性よりも女性の方が若干多い回答率となった。
- ・年代については、これまでと同様、60代が最も高い回答率となった。10代から50代までの回答率が、いずれの年代もこれまでより高い回答率となった。
- ・地区については、片山津の回答率が20%台と若干低かったが、概ね前回よりも高い回答率であった。

性別	発送数	回答数	回答率 (回答数/発送数)	前回(H28) 回答率	前々回(H25) 回答率
男性	736件	243件	33.02%	34.29%	28.15%
女性	764件	282件	36.91%	33.46%	27.74%
合計	1,500件	525件	35.00%	33.87%	27.93%

※回答数には「無回答」を含んでいない。

年代	発送数	回答数	回答率 (回答数/発送数)	前回(H28) 回答数・回答率	前々回(H25) 回答数・回答率
10代	31件	13件	41.94%	6件・18.75%	—
20代	143件	31件	21.68%	24件・16.11%	37件・21.02%
30代	153件	42件	27.45%	44件・25.73%	45件・20.93%
40代	228件	64件	28.07%	59件・24.89%	59件・23.98%
50代	223件	88件	39.46%	80件・37.38%	82件・32.80%
60代	245件	119件	48.57%	149件・50.00%	115件・34.33%
70代	283件	121件	42.76%	87件・39.19%	80件・31.01%
80代	194件	57件	29.38%	64件・36.16%	6件・30.00%
合計	1,500件	535件	35.67%	513件、34.20%	424件、28.27%

※回答数には「無回答」を含んでいない。

※前々回(H25)は20歳以上を対象とした。

中学校区	発送数	回答数	回答率(回答数/ 発送数)	前回(H28) 回答率	前々回(H25) 回答率
錦城	384件	155件	40.36%	33.60%	30.51%
山代	410件	137件	33.41%	29.95%	25.43%
片山津	203件	59件	29.06%	36.63%	24.14%
東和	285件	100件	35.09%	38.61%	31.21%
橋立	68件	27件	39.71%	33.33%	23.21%
山中	150件	50件	33.33%	32.64%	28.33%
合計	1,500件	528件	35.20%	34.00%	27.87%

※回答数には「無回答」を含んでいない。

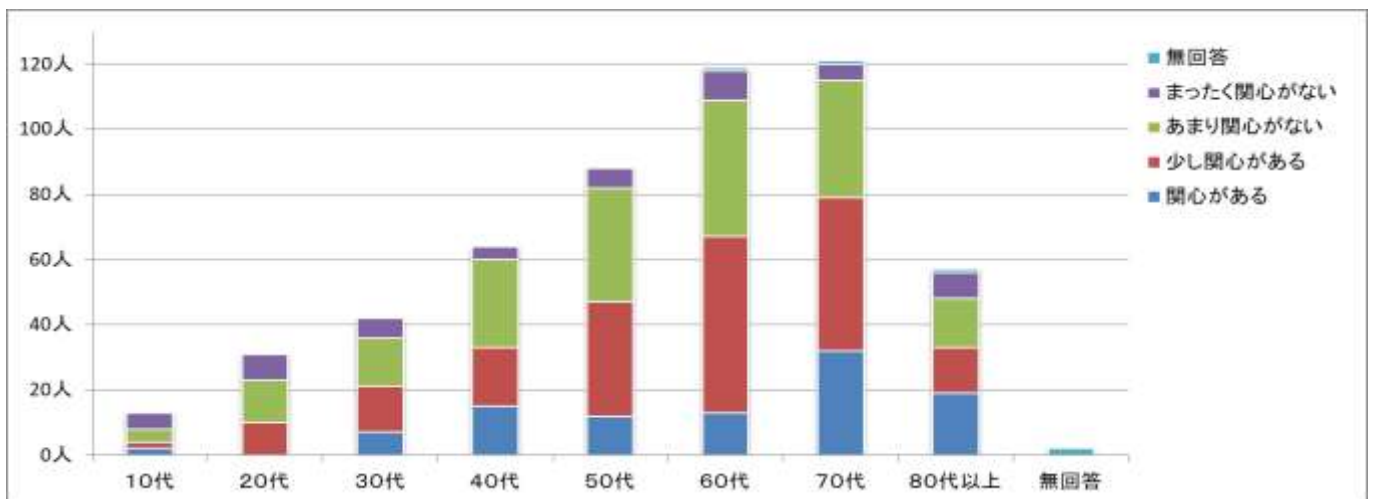
設問4 関心度について

- 全体では、議会に関心がある人は54.8%（前回64.6%）、関心がない人は44.3%（前回35.0%）と、前回調査よりも議会に対する関心度が低下する結果となった。
- 年代別で見ると、関心度が最も高い世代は70代で65.9%となった。30代から60代では50%台、10代・20代では30%強と、若年になるにつれて、関心度が低くなっている。
- 特に、20代で「関心がある」と答えた人はゼロであった。
- 今後は、若者の市政参加、議会の関心度アップを図るための取り組みを積極的に進める必要がある。

《年代別結果》

選択項目	総計		10代		20代		30代		40代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
関心がある	100	18.7%	2	15.4%	0	0.0%	7	16.7%	15	23.4%
少し関心がある	194	36.1%	2	15.4%	10	32.3%	14	33.3%	18	28.1%
あまり関心がない	187	34.8%	4	30.8%	13	41.9%	15	35.7%	27	42.2%
まったく関心がない	51	9.5%	5	38.5%	8	25.8%	6	14.3%	4	6.3%
無回答	5	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	537	100.0%	13	100.0%	31	100.0%	42	100.0%	64	100.0%

選択項目	50代		60代		70代		80代以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
関心がある	12	13.6%	13	11.0%	32	26.7%	19	33.3%	0	0.0%
少し関心がある	35	39.8%	54	44.9%	47	39.2%	14	24.6%	0	0.0%
あまり関心がない	35	39.8%	42	35.6%	36	29.2%	15	26.3%	0	0.0%
まったく関心がない	6	6.8%	9	7.6%	5	4.2%	8	14.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	1	0.8%	1	0.8%	1	1.8%	2	100.0%
合計	88	100.0%	119	100.0%	121	100.0%	57	100.0%	2	100.0%



《過去の調査結果との比較》

選択項目	回答数	R2	H28	H25
関心がある	100	18.7%	23.0%	16.7%
少し関心がある	194	36.1%	41.6%	38.1%
あまり関心がない	187	34.8%	27.8%	34.1%
まったく関心がない	51	9.5%	7.2%	9.2%
無回答	5	0.9%	0.4%	1.9%
計	537	100%	100%	100%

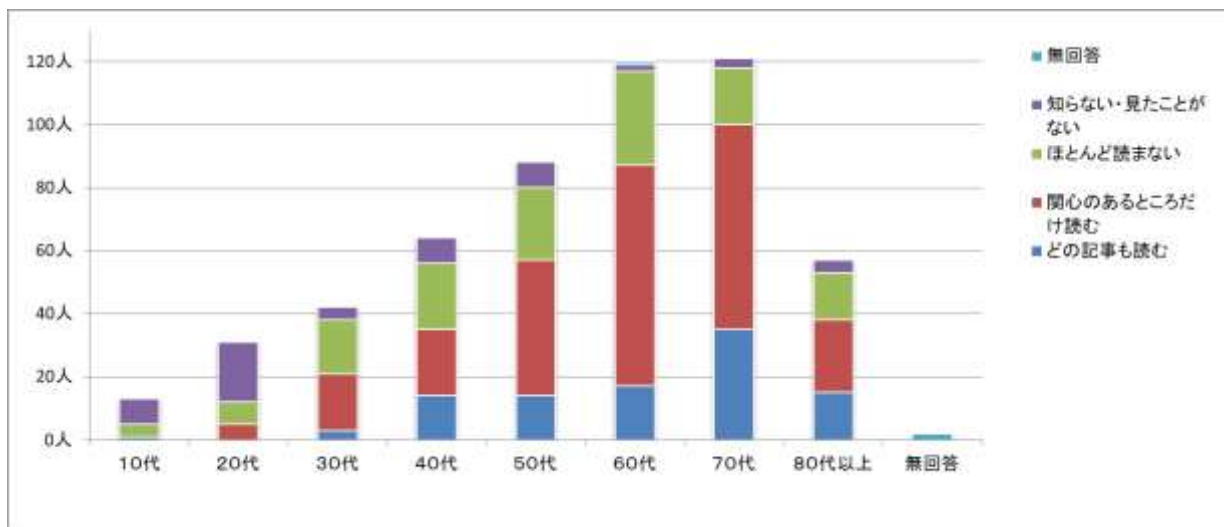
設問5 議会だよりについて

- 全体では、「どの記事も読む」が過去の調査よりも増えているが、「関心があるところだけ読む」と合わせた数値は、64%（前回71.4%）と前回よりも低下している。
- 年代別で見ると、議会だよりを読む率が最も高い世代は70代で82.5%となった。60代で70%台、50代で60%台、30・40代で50%台と、年代が下がるにつれて低下している。10代・20代では20%未満と、若年層の読書率が低いのが顕著である。
- 議会への関心度にもつながるが、若年層にアピールできる議会だよりとするための工夫が必要となる。

《年代別結果》

選択項目	総計		10代		20代		30代		40代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どの記事も読む	99	18.4%	1	7.7%	0	0.0%	3	7.1%	14	21.9%
関心のあるところだけ読む	245	45.6%	0	0.0%	5	16.1%	18	42.9%	21	32.8%
ほとんど読まない	135	25.1%	4	30.8%	7	22.6%	17	40.5%	21	32.8%
知らない・見たことがない	56	10.4%	8	61.5%	19	61.3%	4	9.5%	8	12.5%
無回答	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	537	100.0%	13	100.0%	31	100.0%	42	100.0%	64	100.0%

選択項目	50代		60代		70代		80代以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どの記事も読む	14	15.9%	17	14.4%	35	29.2%	15	26.3%	0	0.0%
関心のあるところだけ読む	43	48.9%	70	58.5%	65	53.3%	23	40.4%	0	0.0%
ほとんど読まない	23	26.1%	30	25.4%	18	15.0%	15	26.3%	0	0.0%
知らない・見たことがない	8	9.1%	2	1.7%	3	2.5%	4	7.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
合計	88	100.0%	119	100.0%	121	100.0%	57	100.0%	2	100.0%



《過去の調査結果との比較》

選択項目	回答数	R2	H28	H25
どの記事も読む	99	18.4%	16.0%	13.9%
関心のあるところだけ読む	245	45.6%	55.4%	45.4%
ほとんど読まない	135	25.1%	19.8%	28.0%
知らない・見たことがない	56	10.4%	8.2%	11.1%
無回答	2	0.4%	0.6%	1.6%
計	537	100.0%	100.0%	100.0%

設問6～8 インターネット、ケーブルテレビ、フェイスブックについて

- ・インターネットで議会中継を見たことがある人は11%（前回7.8%）と、前回調査よりも伸びた一方で、ケーブルテレビで見たことがある人は18.2%（前回26.8%）と、前回調査から低下している。
- ・今回新たに設問に加えた議会フェイスブックの利用度については、「見たことがある」が7.1%と、他の媒体よりも低くなっている。
- ・年代別で見ると、いずれの媒体においても、50代の利用率が高い。
- ・10代から40代までで、インターネット議会中継を「見たことがある」と答えた人は、どの年代も10%を切っており、近年のネット社会の中でも、興味・関心がなければ見ない傾向が顕著に表れている。

《年代別結果》

(1) インターネット議会中継

選択項目	総計		10代		20代		30代		40代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
見たことがある	59	11.0%	1	7.7%	2	6.5%	2	4.8%	6	9.4%
知っていたが、見たことはない	163	30.4%	2	15.4%	7	22.6%	9	21.4%	23	35.9%
パソコン等がない（使えない）ので見られない	90	16.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.8%	3	4.7%
やっていることを知らなかった	220	41.0%	10	76.9%	22	71.0%	29	69.0%	32	50.0%
無回答	5	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	537	100.0%	13	100.0%	31	100.0%	42	100.0%	64	100.0%

選択項目	50代		60代		70代		80代以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
見たことがある	17	19.3%	9	7.6%	15	12.4%	7	12.3%	0	0.0%
知っていたが、見たことはない	29	33.0%	41	34.5%	37	30.6%	15	26.3%	0	0.0%
パソコン等がない（使えない）ので見られない	5	5.7%	20	16.8%	40	33.1%	20	35.1%	0	0.0%
やっていることを知らなかった	37	42.0%	49	41.2%	26	21.5%	15	26.3%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	3	2.5%	0	0.0%	2	100.0%
合計	88	100.0%	119	100.0%	121	100.0%	57	100.0%	2	100.0%

(2) ケーブルテレビ

選択項目	総計		10代		20代		30代		40代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
見たことがある	98	18.2%	1	7.7%	1	3.2%	1	2.4%	14	21.9%
知っていたが、見たことはない	98	18.2%	1	7.7%	4	12.9%	6	14.3%	9	14.1%
ケーブルテレビに加入していないので見られない	203	37.8%	5	38.5%	8	25.8%	18	42.9%	18	28.1%
やっていることを知らなかった	133	24.8%	6	46.2%	18	58.1%	17	40.5%	23	35.9%
無回答	5	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	537	100.0%	13	100.0%	31	100.0%	42	100.0%	64	100.0%

選択項目	50代		60代		70代		80代以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
見たことがある	19	21.6%	19	16.0%	30	24.8%	13	22.8%	0	0.0%
知っていたが、見たことはない	24	27.3%	23	19.3%	20	16.5%	11	19.3%	0	0.0%
ケーブルテレビに加入していないので見られない	26	29.5%	54	45.4%	55	45.5%	19	33.3%	0	0.0%
やっていることを知らなかった	19	21.6%	21	17.6%	16	13.2%	13	22.8%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	2	1.7%	0	0.0%	1	1.8%	2	100.0%
合計	88	100.0%	119	100.0%	121	100.0%	57	100.0%	2	100.0%

(3) 議会フェイスブック

選択項目	総計		10代		20代		30代		40代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
見たことがある	38	7.1%	0	0.0%	1	3.2%	1	2.4%	1	1.6%
知っていたが、見たことはない	77	14.3%	0	0.0%	4	12.9%	2	4.8%	7	10.9%
フェイスブック自体利用していない	207	38.5%	5	38.5%	11	35.5%	14	33.3%	23	35.9%
あることを知らなかった	209	38.9%	8	61.5%	15	48.4%	25	59.5%	33	51.6%
無回答	6	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	537	100.0%	13	100.0%	31	100.0%	42	100.0%	64	100.0%

選択項目	50代		60代		70代		80代以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
見たことがある	14	15.9%	6	5.0%	8	6.6%	7	12.3%	0	0.0%
知っていたが、見たことはない	14	15.9%	14	11.8%	23	19.0%	13	22.8%	0	0.0%
フェイスブック自体利用していない	25	28.4%	60	50.4%	55	45.5%	14	24.6%	0	0.0%
あることを知らなかった	35	39.8%	38	31.9%	34	28.1%	21	36.8%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	1	0.8%	1	0.8%	2	3.5%	2	100.0%
合計	88	100.0%	119	100.0%	121	100.0%	57	100.0%	2	100.0%

設問9 市議会の一歩の情報源について

- 一番の情報源は、圧倒的に「議会だより」であるが、55.5%（前回58.4%）と前回調査よりも若干低下している。
- 前回調査よりも、市議会ホームページ、ケーブルテレビ、市議会フェイスブック等の他の広報媒体が若干上昇している。また、「新聞記事」と答えた人が23.8%（前回16.3%）と前回調査よりも高くなっており、報道での発信力も高いことが分かる。
- 年代別で見ると、10代・20代では「市議会ホームページ」の回答も多く、若者に対してはホームページの有効活用が効果的と考える。

《年代別結果》

選択項目	総計		10代		20代		30代		40代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
市議会だより	298	55.5%	1	7.7%	7	22.6%	28	66.7%	40	62.5%
市議会ホームページ	27	5.0%	5	38.5%	9	29.0%	3	7.1%	4	6.3%
市議会フェイスブック	4	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
議会傍聴（見学）	4	0.7%	0	0.0%	1	3.2%	0	0.0%	0	0.0%
議会報告会	14	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新聞記事	128	23.8%	7	53.8%	8	25.8%	8	19.0%	17	26.6%
ケーブルテレビ	39	7.3%	0	0.0%	4	12.9%	1	2.4%	1	1.6%
インターネット議会中継	4	0.7%	0	0.0%	1	3.2%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	19	3.5%	0	0.0%	1	3.2%	2	4.8%	2	3.1%
合計	537	100.0%	13	100.0%	31	100.0%	42	100.0%	64	100.0%

選択項目	50代		60代		70代		80代以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
市議会だより	41	46.6%	80	66.9%	77	63.3%	24	42.1%	0	0.0%
市議会ホームページ	2	2.3%	2	1.7%	1	0.8%	1	1.8%	0	0.0%
市議会フェイスブック	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.5%	0	0.0%
議会傍聴（見学）	1	1.1%	0	0.0%	1	0.8%	1	1.8%	0	0.0%
議会報告会	1	1.1%	4	3.4%	6	5.0%	3	5.3%	0	0.0%
新聞記事	31	35.2%	22	18.6%	22	18.3%	13	22.8%	0	0.0%
ケーブルテレビ	6	6.8%	7	5.9%	12	10.0%	8	14.0%	0	0.0%
インターネット議会中継	1	1.1%	1	0.8%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	3	3.4%	3	2.5%	1	0.8%	5	8.8%	2	100.0%
合計	88	100.0%	119	100.0%	121	100.0%	57	100.0%	2	100.0%

《過去の調査結果との比較》

選択項目	回答数	R2	H28
市議会だより	298	55.5%	58.4%
市議会ホームページ	27	5.0%	2.7%
市議会フェイスブック	4	0.7%	0.4%
議会傍聴（見学）	4	0.7%	0.6%
議会報告会	14	2.6%	0.8%
新聞記事	128	23.8%	16.3%
ケーブルテレビ	39	7.3%	3.5%
インターネット議会中継	4	0.7%	-
無回答ほか	19	3.5%	14.0%
計	537	100.0%	100.0%

設問 10 市民の意見反映について

- 過去の調査結果と比較すると、「思う」「やや思う」の割合が増加傾向にあるものの、ほとんどの人が「思わない」「わからない」との回答であった。まだまだ議会活動に対する認知、信頼が低く、「議会を知らない・関心がない」人が多数いる結果となった。
- 世代別では10代から30代で、「わからない」と答えた人が過半数を超える結果となった。
- この結果は、市民の率直な意見であり、今後、「市民が参加する議会」を進め、信頼を高めていくことが大切である。また、「開かれた議会」にも取り組み、少しでも議会を知ってもらい、身近に感じてもらうようにすべきである。

そして、積極的に地域へ出向き、市民の意見を汲み取り、市民の代表として、今後の議会活動・議会運営をしていくことが大切であると考えます。

《年代別結果》

選択項目	総計		10代		20代		30代		40代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
思う	9	1.7%	1	7.7%	1	3.2%	0	0.0%	1	1.6%
やや思う	117	21.8%	2	15.4%	4	12.9%	7	16.7%	17	26.6%
思わない	200	37.2%	2	15.4%	9	29.0%	12	28.6%	26	40.6%
わからない	202	37.6%	7	53.8%	17	54.8%	23	54.8%	19	29.7%
無回答	9	1.7%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
合計	537	100.0%	13	100.0%	31	100.0%	42	100.0%	64	100.0%

選択項目	50代		60代		70代		80代以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
思う	0	0.0%	1	0.8%	4	3.3%	1	1.8%	0	0.0%
やや思う	26	29.5%	25	20.3%	27	22.5%	9	15.8%	0	0.0%
思わない	35	39.8%	51	43.2%	45	37.5%	19	33.3%	1	50.0%
わからない	26	29.5%	40	33.9%	43	35.0%	26	45.6%	1	50.0%
無回答	1	1.1%	2	1.7%	2	1.7%	2	3.5%	0	0.0%
合計	88	100.0%	119	100.0%	121	100.0%	57	100.0%	2	100.0%

《過去の調査結果との比較》

選択項目	回答数	R2	H28	H25
思う	9	1.7%	2.1%	0.9%
やや思う	117	21.8%	16.7%	16.2%
思わない	200	37.2%	42.8%	43.8%
わからない	202	37.6%	35.4%	35.5%
無回答	9	1.7%	2.9%	3.5%
計	537	100.0%	100.0%	100.0%

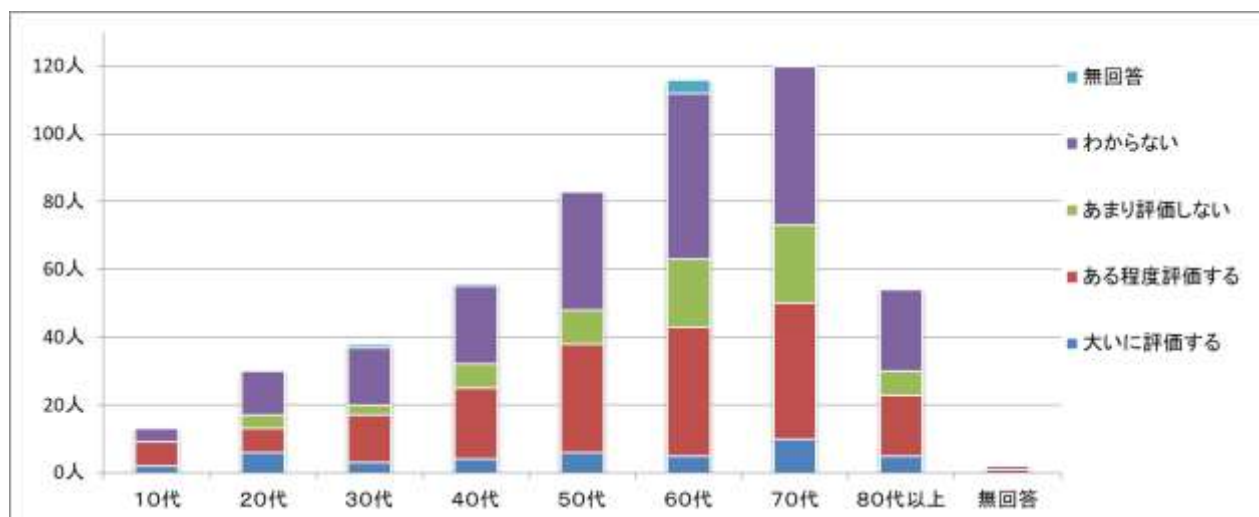
設問 11 市議会の活動状況の評価について

- ・前回の調査結果と比較すると、評価する人は40.7%（前回41.8%）と大きな変化はないが、「大いに評価する」が7.6%（前回5.8%）と若干上昇しており、これまでの議会活性化の取り組み等に一定の効果があったものとみられる。
- ・すべての世代を通して「わからない」と答えた割合が30～40%程度あり、まだまだ議会に対する関心度・理解度が低い結果となった。

選択項目	総計		10代		20代		30代		40代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
大いに評価する	41	7.6%	2	15.4%	6	19.4%	3	7.1%	4	6.3%
ある程度評価する	178	33.1%	7	53.8%	7	22.6%	14	33.3%	21	32.8%
あまり評価しない	74	13.8%	0	0.0%	4	12.9%	3	7.1%	7	10.9%
まったく評価しない	25	4.7%	0	0.0%	1	3.2%	4	9.5%	8	12.5%
わからない	213	39.7%	4	30.8%	13	41.9%	17	40.5%	23	35.9%
無回答	6	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%	1	1.6%
合計	537	100.0%	13	100.0%	31	100.0%	42	100.0%	64	100.0%

選択項目	50代		60代		70代		80代以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
大いに評価する	6	6.8%	5	4.2%	10	8.3%	5	8.8%	0	0.0%
ある程度評価する	32	36.4%	38	31.4%	40	32.5%	18	31.6%	1	50.0%
あまり評価しない	10	11.4%	20	16.9%	23	19.2%	7	12.3%	0	0.0%
まったく評価しない	5	5.7%	3	2.5%	1	0.8%	3	5.3%	0	0.0%
わからない	35	39.8%	49	41.5%	47	39.2%	24	42.1%	1	50.0%
無回答	0	0.0%	4	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	88	100.0%	119	100.0%	121	100.0%	57	100.0%	2	100.0%

《年代別結果》



《過去の調査結果との比較》

選択項目	回答数	R2	H28	H25
大いに評価する	41	7.6%	5.8%	0.7%
ある程度評価する	178	33.1%	36.0%	28.2%
あまり評価しない	74	13.8%	12.8%	18.6%
まったく評価しない	25	4.7%	4.7%	4.9%
わからない	213	39.7%	35.8%	45.2%
無回答	6	1.1%	4.9%	2.4%
計	537	100.0%	100.0%	100.0%

設問 12 議会の取り組みについて

- 上位の回答は、「議会報告会の開催」（1位）、「議会だよりの充実等」（2位）、「意見交換会や市民アンケートの実施」（3位）であり、改めて広報広聴活動の重要性が分かる結果となった。
- 今回新たに選択肢に加えた「分かりやすい質問や答弁を行うこと」が4位となったほか、「通年議会の導入」が6位（前回12位）となるなど、議会議論の充実・分かりやすさが期待されている形となった。
- 前回の調査結果では上位であった、「議員数・報酬の検討」（5位：前回2位）、「監視機能の強化」（7位：前回3位）、「調査機能の強化」（11位：前回4位）は、順位を下げる結果となった。また、「政策提言の強化」（10位：前回8位）についても、減少している。
- 全体として、市民に見える形でのコミュニケーションや情報発信の取り組みが期待されている結果となっており、広報広聴活動のさらなる推進を図っていくことが大切である。

《調査結果》

順位	選択項目	回答数	構成比	H28 順位
1	議会報告会等を開催し、市議会での活動報告を市民に伝えること	237	16.4%	5
2	市議会だより（年4回）の充実や発行回数の増加により情報発信を強化すること	205	14.2%	6
3	意見交換会や意向調査（アンケート）を行い、市民の意向を把握・反映していくこと	175	12.1%	1
4	分かりやすい質問や答弁を行うことにより、市民の議会への関心・傍聴意欲を高めること	145	10.0%	—
5	議員の定数や報酬等の見直しを検討すること	139	9.6%	2
6	通年議会を導入し、議会をいつでも開催できるようにすること（議会の権限強化）	103	7.1%	12
7	市政に対するチェック機能を強化すること（監視機能の強化）	95	6.6%	3
8	議会（委員会）を各施設（地区会館等）で開催し、市民が議会を見学しやすい環境をつくること	91	6.3%	7
9	子ども議会や女性議会などの模擬議会の開催により、議会への興味・関心を高めること	72	5.0%	10
10	議会で政策提言や政策条例を策定すること（政策提言の強化）	71	4.9%	8
11	様々な分野の勉強や調査を行い、市政反映につなげること（調査機能の強化）	55	3.8%	4
12	インターネット等の活用により情報発信を強化すること （見やすく分かりやすいホームページづくり等）	15	1.0%	11
	無回答	45	3.1%	—
	計	1448	100.0%	

設問 13 市議会へのご意見・要望について

- 様々なご意見を多数いただいた。
- 「市議会に対する意見・要望等」については、議会全体としての考え方を示すとともに、議員各人において、しっかりと受け止めていくべきものである。
- 「市政に対する意見・要望等」については、市民の声として市当局に情報提供するとともに、所管の委員会においても内容を把握し、必要なものについては対応を検討していく必要がある。

総括

全体的には、議会への関心度が54.8%と、前回調査時（H28）の64.6%に比べて、9.8%減少する結果となった。

過去の調査と同様、若年層の関心度は依然として低く、議会の取り組み内容を知らない人も多数いる状況であった。今後、若年層の議会への関心度を高めるための取り組みを積極的に進めていく必要がある。

議会だよりについては、前回調査と同様、一番の情報源となっているが、ホームページ、フェイスブック、議会報告会といったその他の媒体や取り組みについても、わずかではあるがポイントが上昇している。

また、議会の取り組みで期待しているものについては、「議会だよりの充実等」のほか、「議会報告会の開催」、「意見交換会や市民アンケートの実施」が上位となっており、広報広聴活動として、市民に見える形でコミュニケーションや情報発信を進めていくことが大切であることが分かった。「市民の意見や声が市議会に届いているか」との問いに対し、「思わない」「わからない」との答えが70%を超えていることから、市民に寄り添った取り組みが必要と考える。

現在のコロナ禍においては、「開かれた議会」や「市民が参加する議会」を推進する上で難しい面は数多くあるが、その一方で議会の広報広聴活動の重要性は、ますます高まってきている。

意見交換におけるWeb会議の推進やホームページ、フェイスブック等のさまざまな広報媒体の有効活用等により、効果的な取り組みを進めていく必要がある。

今回のアンケートによって、これまでの議会の取り組みについて、市民の率直な意見をもらい、また、今後の検討課題等も把握することができた。

調査結果を踏まえ、今後の議会活動、議会運営に生かしていかなければならない。